

# 事業計画書

## 令和3年度事業計画書

### I はじめに

当財団は、市民の健康増進と明るく豊かな潤いのある市民生活に寄与することを目的に、公益認定を維持しつつ、文化、スポーツ及びまちづくりの事業に総合的に取り組んでまいりました。

しかし、新型コロナウイルスの影響で公益目的事業においては、不特定多数の人が集まるイベントの中止や、コンサートや教室を開催するにもソーシャルディスタンスを確保して参加人数の制限を実施する等、今までのように事業展開することが難しい状況になっております。

さらに、これまでは収益事業の収益から公益目的事業へ振替えを行い、公益目的事業を充実させてきましたが、収益事業も大きな影響を受け、公益目的事業への振替額が激減していることに加えて、市の財政状況も厳しいことから補助金等の増額は見込めず、取り巻く財政的な環境は今までにない非常に厳しいものとなっています。

このような状況を踏まえて必要な事業を展開していくために、すべての事業の見直しを図り、第3次中期経営計画・事業実施計画の最終の予算となる令和3年度の予算編成は、計画に定める方向性に修正を加えた事業予算を計上し、財政難を乗り切るため、より効率的で効果的な事務事業の実施に取り組みます。

#### 【経営方針】

- (1) 住民との連携による多様な事業の推進
- (2) 持続可能な財政運営の推進
- (3) 職員の資質向上と効率的な組織体制の推進

#### 【経営目標】

- (1) 公益目的事業の多様な取組みの推進
- (2) 収益事業の経営改善
- (3) 適正かつ効率的な組織体制の強化
- (4) 人材育成と定員管理
- (5) 情報の発信・収集及び調査研究の推進

### II 事業計画

#### 1 公益目的事業

##### (1) 芸術文化振興事業

##### ア 市民文化の創造・育成と市民文化の普及・振興

市民との協働による市民参加型事業を引き続き実施し、実行委員会形式による市民の自主運営を目指します。また、市民文化の向上に寄与するため、参加者が技能を習得するワークショップ形式の講座を開催します。

- (ア) 市民実行委員会が企画・運営を行う「市民演劇フェスティバル」、「市民合唱祭」、「ジャズフェスティバル」
- (イ) ワークショップでは、音楽の基本から合唱の楽しみ方を学ぶ「おもしろ音楽講座」、将棋文化の普及を目的とした「将棋入門」
- (ウ) 親子で楽しめる「海賊ラティーナ参上」、リトアニア共和国との交流事業「杉原千畝物語 オペラ人道の桜」
- (エ) スポーツ事業として実施しているリズム体操に、ジョイント事業として幼児を対象とした「訪問コンサート」

#### イ 芸術文化鑑賞機会の提供

子どもから高齢者まで幅広い世代の市民に芸術文化への興味を持ってもらい、文化意識の向上につながる、優れた芸術文化鑑賞の機会を提供します。

- (ア) ポピュラー部門：ヒット曲「ワダツミの木」の「元ちとせコンサート」、映画音楽の名曲を楽しむ「映画音楽コンサート」
- (イ) 伝統芸能部門：津軽三味線の「吉田兄弟」、本格的な落語の「湘南ひらつか寄席」
- (ウ) 開館記念事業：令和４年３月に開館する「ひらしん平塚文化芸術ホール」の開館記念事業として、雅楽演奏の「東儀秀樹コンサート」

#### ウ 文化団体等に対する助成

市民が文化活動を通して、市民相互のふれあいと地域の連帯意識を高めながら活発な文化活動を継続できるよう、市内に居住する個人又は所在する団体が国際規模、全国規模又は関東規模の大会等に参加する際の支援金を交付します。

#### エ 囲碁文化の普及

囲碁文化の普及振興と発展を目指して、第２５回を迎える「湘南ひらつか囲碁まつり」を開催するとともに、「子ども囲碁多面打ち大会」、「子ども囲碁大会」、「囲碁級位認定大会」、「囲碁出前授業」の実施のほか、各種囲碁教室の事業を実施します。

### (２) スポーツ振興事業

#### ア スポーツ教室等の実施

市民が生涯にわたりスポーツに親しむために、スポーツの教室、講習会、イベントを開催し、健康増進への機会の提供及びスポーツに対する参加意識を高めます。また、中高年齢者の健康保持、増進や健常者と障がい者の隔たりがなくなる社会を目指すなどの事業を実施するとともに、運動施設等の管理運営について平塚市と協議します。

- ・ バドミントン教室等３８スポーツ教室の開催（定例３６、特別２）
- ・ 文化事業として実施している訪問コンサートに、ジョイント事業として幼児を対象としたリズム体操等の教室の開催

- ・ ひらつか市民スポーツフェスティバルでのスポーツ教室の開催
- ・ ニューススポーツ囲碁ボールの普及
- ・ スポーツと福祉の共同事業の開催
- ・ オリンピック・パラリンピックに関する事業の開催

#### イ スポーツ団体等に対する助成・援助

市民がスポーツ活動を通して、市民相互のふれあいと地域の連携意識を高めながらスポーツ活動を持続できるよう支援します。

- ・ 国際規模、全国規模又は関東規模の大会等において、優秀な成績を収めた市内に居住する個人や所在する団体へ支援金を交付します。
- ・ 市内に居住する者で組織する団体が全市的に一般市民を対象とした大会を主催するときの会場使用料を援助します。
- ・ 大会等に出場し、優秀な成績を収めた市内に居住する小・中・高校生（団体を含む。）をスポーツ優秀選手として表彰します。
- ・ 全国大会に出場した小・中・高校生の個人や団体にスポーツの奨励として記念品を贈呈します。

### （3）まちづくり振興事業

#### ア 自転車振興

##### （ア）駐輪場及び自転車等放置禁止区域の周知等及び交通ルールへの遵守、自転車マナーの普及キャンペーン事業

平塚市の駐輪対策施策を補完する事業として、交通安全キャンペーンや市内中学校でのスクエアードストレート方式による交通安全教室の実施、スポーツ振興事業と合わせた「ひらつか市民スポーツフェスティバル」における自転車交通安全イベントの開催、財団独自の自転車交通安全CM映像によるバス広告等を利用した「交通ルールの遵守と自転車マナーの普及啓発」に引き続き取り組み、また、放置自転車対策として駐輪場利用の啓発に取り組みます。

##### （イ）自転車乗車用ヘルメット購入助成

自転車乗車中のけがの軽減など自転車の交通安全と自転車マナーの向上を図るため、市内の自転車店の協力を得て、幼児、児童及び65歳以上の高齢者の自転車乗車用ヘルメット購入の助成を行います。

#### イ 平塚市総合公園の管理運営（有料公園施設を除く。）

平塚市民の健康増進と明るく豊かな潤いのある市民生活に寄与するため、平塚市からの委託により、平塚市総合公園の管理運営を行います。また、これまでに当財団が蓄積して

いるノウハウを活かし、動物園のイベントの開催や、四季に応じた花壇への植栽など市民や利用者に親しんでもらえる管理運営に主体的に取り組みます。

## 2 収益事業

### (1) 駐輪場、駐車場管理運営事業

#### ア 駐輪場の管理運営（レンタサイクルを含む。）

平塚駅周辺の放置自転車による歩行者の通行妨害、災害活動時障害、盗難の誘発、都市の美観を損なうなどの平塚市の課題解決に資する事業として、駐輪場の整備・改善と利用しやすく安心安全な駐輪場を基本として19の駐輪場（レンタサイクルを含む。）の管理運営を行います。

今年度は、平塚市の「平塚市自転車活用推進計画」及び事業依頼に基づく平塚駅南口周辺の駐輪場再整備について、定期利用置場を主とした八重咲町公園第2駐輪場改築工事の実施設計を行うとともに、利用者へより利便を高めた駐輪場施設を提供するため、引き続き平塚市と協議を進めていきます。

#### イ 駐車場の管理運営

##### (ア) 紅谷町駐車場の管理運営

中心市街地の自動車駐車場の利便に資するため、利用者本位の利用しやすく安心安全な駐車場を基本に管理運営するとともに、より一層の工夫で効率性を高めて経費削減に努めます。

##### (イ) 湘南海岸公園臨時有料駐車場の管理運営

平塚市の依頼に基づき、夏季（主に7月～8月）における「湘南ベルマーレひらつかビーチパーク」の利便性向上を図るため、臨時有料駐車場を設置し管理運営を行います。

### (2) 売店事業

文化事業の参加者や総合公園等の利用者の利便性を高めるため、チケットの受託販売や総合公園内のレストハウス、売店、自動販売機の管理運営を行います。

## 3 その他

### (1) 「サッカーのまち」を定着させる事業

「サッカーのまち」の定着に向け、サッカーをテーマとしたスポーツ教室の開催、湘南ベルマーレサポート自動販売機の設置のほか、湘南ベルマーレのホームゲーム時に総合公園駐車場の混雑緩和策として、紅谷町駐車場を利用したサッカー観戦者をはじめとする総合公園利用者を対象に紅谷町駐車場の料金を割引くなど、文化、スポーツ、まちづくりを総合した事業を展開します。

### (2) ふれあい物品貸出し事業

市民団体等の地域でのふれあい活動に資する目的で、公益目的事業用として使用されている物品をより有効に活用するため、ふれあい物品貸出し事業を実施します。

(3) 文化・スポーツ事業の周知と情報提供等

ホームページや各種メディアを活用した文化事業の情報提供を行うとともに、スポーツ情報紙「スポーツタウンひらつか」の発行等により、積極的に事業の周知に努めます。

また、事業の強化、拡充、創設に向け、市内外の関係団体等との情報交換を行うとともに、引き続き文化、スポーツ、まちづくりの各部門に企画専門委員会を設け、幅広く意見を聴取します。